

川崎汽船の業績予想修正－格付には織り込み済み

以下は、川崎汽船株式会社（証券コード：9107）が、19/3期通期業績予想修正を発表したことに対する株式会社日本格付研究所（JCR）の見解です。

■見解

- (1) 当社は19年3月7日に、19/3期決算における業績予想修正を発表した。修正後の予想は経常損益460億円の赤字（前回予想280億円の赤字）、親会社株主に帰属する当期純損益1,000億円の赤字（同200億円の赤字）となっている。修正の理由は、営業損益段階での備船に関する損失引当金の計上に加え、特別損益段階での備船解約に伴う損失計上および19/3期に予定していた資産売却益の計上時期変更などである。
- (2) JCRでは19年2月13日に当社の長期発行体格付を「BBB-」、見通しを「安定的」とした。本件は利益構造の改善に向けた取り組みの一環であり、20/3期以降の業績回復を後押しするものとなる。一方、構造改革費用を先行させることで自己資本が一段と毀損することとなる。自己資本の水準や自己資本比率などは改善余地が大きく、財務基盤の強化が喫緊の課題であるとの認識に変化はない。本件については、19年2月の格付見直しに織り込んでおり、直ちに格付を見直す必要はないと考えている。今後の利益の回復度合いや財務基盤の強化に向けた取り組みに注目していく。

（担当）水川 雅義・小野 正志

【参考】

発行体：川崎汽船株式会社

長期発行体格付：BBB- 見通し：安定的

■留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果的正確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいて行っております。JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

■NRSRO登録状況

JCRは、米国証券取引委員会が定めるNRSRO（Nationally Recognized Statistical Rating Organization）の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。

■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL：03-3544-7013 FAX：03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.

信用格付業者 金融庁長官（格付）第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル